

平成30年度事業報告

1. 定時社員総会

平成30年6月20日（金） 午後5時20分～午後6時20分 （札幌コンベンションセンター）

2. 理事会

平成30年度理事会役員

	M系	E系
理事長		木村 裕一
副理事長	杉町 勝	大城 理
総務員		大城 理
財務部		黒田 知宏
学術部		中島 一樹
企画（活性化）		生田 幸士
国際編集	成瀬 恵治	佐藤 嘉伸
教育	松田 哲也	
ME技術教育		横澤 宏一
選奨管理	守本 祐司	野村 泰伸
広報	松村 泰志	
監事	川田 徹	
	澤 芳樹	井村 誠孝
		吉田 正樹
		中沢 一雄
総務委員会		大城 理
財務委員会		中島 一樹
国際委員会	松田 哲也	
編集委員会		横澤 宏一
1. 生体医工学編集委員会		福岡 豊
2. 国際誌（ABE誌）		王 鋼
教育委員会		野村 泰伸
ME技術教育委員会	守本 祐司	
CE委員会	守本 祐司	
広報委員会		井村 誠孝
ME研究推進委員会		生田 幸士
医学科ME教育WG	平田 雅之	
生体医工学科活性化委員会	石原 謙	
利益相反委員会		佐藤 嘉伸
若手研究者活動WG		荒船 龍彦*
生体医工学シンポジウムWG		大城 理
選挙管理委員会	川田 徹	
選奨委員会	松村 泰志	
日本生体医工学会事務局長		磯山 隆

*非役員

理事会開催 6回（6/20、8/3、10/12、1/18、3/13、5/17）

3. 第57回大会

会 期：平成30年6月19日（火）～21日（木）
会 場：札幌コンベンションセンター
大 会 長：岡本 英治（東海大学）

4. 生体医工学シンポジウム2018

会期：平成30年9月14日（金）～15日（土）
会場：名古屋工業大学
組織委員長：本谷 秀堅（名古屋工業大学）

5. 会員現状

	平成30年3月末現在	平成31年3月末現在	増減
名誉会員（名）	59	61	2
正会員（名）	1,652	1,609	－43
準会員（名）	228	251	23
維持会員（団体〔口〕）	13〔18口〕	11〔16口〕	－2

◆平成30年度物故会員

名誉会員：岩 喬（令和元年5月6日）

6. 機関誌発行

- （1）「生体医工学」第56巻第2号（通巻号数293）～第57巻第1号（同298）
- （2）Advanced Biomedical Engineering (ABE) volume 7

7. 平成30年度専門別研究会

	名 称	氏 名	回数
1	バイオメカニクス研究会	坂本 信	4
2	ニューロ・インフォマティクスにおけるME研究会	鈴木 隆文	4
3	次世代治療技術開発のための細胞組織・分子機能の計測・制御研究会	石原 美弥	5
4	BME on Dementia 研究会	志村 孚城	3
5	未来のバイオメディカルデザイン研究会	生田 幸士	4
6	ナノテクノロジーと物理エネルギーを融合した標的化診断治療研究会	守本 祐司	1
7	医療機器に関するレギュラトリーサイエンス研究会（略称：RS研究会）	村垣 善浩	2
8	Active agingを支援するバイオメディカル工学研究会	酒谷 薫	3
9	ユビキタス情報メディアと医療システム研究会	保坂 良資	6
10	精神・睡眠医療とME研究会	植野 彰規	2
11	生体信号計測・解釈研究会	百瀬 桂子	2
12	fNIRS (functional near- infrared spectroscopy) 計測・解析技術研究会	江田 英雄	4
13	育児工学未来研究会	小谷 博子	4
14	非ME臨床研究会	白石 泰之	2
15	医療・福祉における電磁環境研究会	花田 英輔	4
16	バイオメディカル・ビッグデータ研究会	早野順一郎	4
17	生体画像と医用人工知能研究会	原口 亮	6
18	実社会におけるマルチモーダル脳情報応用技術研究会	岩木 直	3

専門別研究会協議会を平成30年6月21日に、北海道コンベンションセンターで開催。

8. 他団体との共催の研究会

- ・BME on Dementia 研究会（日本早期認知症学会との共催）
- ・ユビキタス情報メディアと医療システム研究会（日本医療情報学会看護部会との共催）
- ・生体信号計測・解釈研究会（バイオメディカル・ビッグデータ研究会との共催）
- ・fNIRS 計測・解析技術研究会（SICE ライフエンジニアリング部門シンポジウムと共催）
- ・医療・福祉における電磁環境研究会（日本医療福祉設備協会との共催）
- ・MEとバイオサイバネティックス研究会（電子情報通信学会との共催）

委員長：京相 雅樹（東京都市大学）

副委員長：野村 泰伸（大阪大学）

9. 支部活動

(1) 北海道支部（支部長：工藤 信樹 支部幹事：加藤 祐次）

1) 支部総会開催日：平成30年10月20日(土)支部大会終了後

支部総会開催会場：北海道大学大学院情報科学研究科棟 A21 教室

2) その他の行事

- ・第57回日本生体医工学会北海道支部大会

(第98回北海道医学大会生体医工学分科会として開催)

平成30年10月20日(土)、北海道大学大学院情報科学研究科棟 A21 教室

- ・MEとバイオサイバネティクス研究会

テーマ：一般

開催日：平成30年6月22日(金)

開催会場：北海道大学大学院情報科学研究科棟 5F 中会議室

共催等：電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会、

日本生体医工学会 ME とバイオサイバネティクス研究会、

IEEE EMBS Japan Chapter、電気学会医用・生体工学研究会と連催

- ・第53回生体医工学研究会

テーマ：医用超音波

開催日：平成30年8月4日(土)

開催会場：北海道大学大学院情報科学研究科棟 11F 大会議室

共催：日本超音波医学会の基礎技術研究会、超音波分子診断治療研究会、
光超音波画像研究会、レーザー学会光音響イメージング技術専門委員会

- ・生体医工学シンポジウム2018

開催日：平成30年9月14日(金)、15日(土)

開催会場：名古屋工業大学 NITech Hall

主催等：日本生体医工学会および日本生体医工学会全支部主催

- ・第54回生体医工学研究会

テーマ：「研究発表への第一歩を踏み出す」

開催日：平成30年10月14日(日)

開催会場：北大学術交流会館 第1会議室

共催：北海道臨床工学技士会

3) 総括、その他通信

東海大学岡本英治先生が大会長となり、第57回全国大会が北海道で開催された。

支部役員や会員も大会運営の役割を分担し、成功裏に大会を終了させることができた。

ご協力いただいた関連各位に、北海道支部からも感謝申しあげたい。

支部大会では、北海道臨床工学技士会のご協力により、新たな試みとして臨床工学のセッションを新設した。

これは、前年度の北海道臨床工学技士会と共催の第52回研究会や第57回全国大会の「生体医工学と臨床工学」のセッションでの議論を受け、北海道支部における生体医工学と臨床工学の連携の場として設けたものである。

今後、効果的な連携が生まれる機会となるよう継続していきたい。

(2) 東北支部 (支部長：吉澤 誠 支部幹事：松永 忠雄)

1) 支部総会開催日：平成 31 年 2 月 16 日 (土)

支部総会開催会場：東北大学 青葉山コモンズ 講義室 1

2) その他の行事

- ・第 52 回日本生体医工学会東北支部大会

(大会長：渡邊 高志、日本生体医工学会東北支部主催)

平成 31 年 2 月 16 日 (土)、東北大学 青葉山コモンズ 講義室 1

3) 総括、その他通信

平成 31 年 2 月 16 日 (土) に、東北支部大会と総会を東北大学青葉山コモンズ、講義室 1 にて行った。1 件の特別講演として、増田 正 氏 (福島大学 共生システム理工学類 教授) による「多点表面筋電図の探求」と題した講演が行われた。また、一般演題は 22 件あり、4 セッションに分かれ、大変活発な質疑応答が行われた。

(3) 関東支部 (支部長：佐久間 一郎 支部幹事：中川 桂一)

1) 支部総会開催日：平成 30 年 12 月 1 日 (土)

支部総会開催会場：東京大学 本郷キャンパス

2) その他の行事

- ・日本生体医工学会関東支部 若手発表会 2018：主催 2018 年 12 月 1 日

東京大学 本郷キャンパス 実行委員長：関野正樹先生 (東京大学)

演題数 73 件であり、学生、若手研究者を中心に活発な議論が行われた。

- ・生体医工学シンポジウム 2018：日本生体医工学会 全支部 2017 年 9 月 14-15 日

名古屋工業大学 NITech Hall 組織委員長：本谷秀堅先生 (名古屋工業大学)

- ・第 28 回ライフサポート学会 フロンティア講演会：共催 2019 年 3 月 15-16 日

埼玉医科大学 日高キャンパス 実行委員長：下岡聡行先生 (埼玉医科大学)

3) 総括、その他通信

- ・第 58 回日本生体医工学会大会 (大会長：東京大学 生田 幸士先生) の企画運営準備中である。

- ・関東支部では、若手研究者の研究の活性化を目的として、今後も若手研究者発表会などの活動が続けていく予定である。

(4) 甲信越支部 (支部長：堀 潤一 支部幹事：岩城 護)

1) 支部総会開催日：平成 30 年 10 月 13 日 (土)

支部総会開催会場：新潟大学 五十嵐キャンパスライブラリホール (新潟市)

2) その他の行事

- ・第 38 回日本生体医工学会甲信越支部大会

平成 30 年 10 月 13 日 (土)

新潟大学五十嵐キャンパスライブラリホール (新潟市)

- ・第 17 回日本生体医工学会甲信越支部 長野地区シンポジウム

平成 31 年 2 月 28 日 (木) 13:00~17:20

信州大学上田キャンパス (長野県上田市)

3) 総括、その他通信

第 38 回日本生体医工学会甲信越支部大会では、近畿大学 吉田 久先生による特別講演「胎児の瞬時心拍検出 ~妊婦見守りシステムの構築に向けて~」が開催された他、18 件の一般演題が発表され、活発な討論が行われた。

また、一般演題のうち、2 件が優秀賞として表彰された。

(5) 東海支部（支部長：長谷川 純一 支部幹事：目加田 慶人）

1) 支部総会開催日：平成 30 年 9 月 14 日（金）

支部総会開催会場：名古屋工業大学（名古屋市）

2) その他の行事

- ・生体医工学シンポジウム 2018（共催）

日時：平成 30 年 9 月 14 日（金）、15 日（土）

会場：名古屋工業大学（名古屋市）

主催：日本生体医工学会および同学会全支部

組織委員長：本谷 秀堅（名古屋工業大学）

- ・支部幹事会

日時：平成 30 年 9 月 14 日（金）

会場：名古屋工業大学（名古屋市）

3) 総括、その他通信

本年度は生体医工学シンポジウムの 9 月名古屋開催に伴い、同時期開催の支部大会を中止し、代わりに、シンポジウム組織委員長と協力して、支部会員にシンポジウムへの研究発表・参加を奨励した。

支部総会では、平成 31（令和元）年度以降の支部活動計画（支部総会・支部幹事会・支部大会等）の開催案を確認・承認した。

(6) 北陸支部（支部長：鈴木亮一 支部幹事：服部託夢）

1) 支部総会開催日：平成 30 年 12 月 1 日（土）

支部総会会場：金沢工業大学扇が丘キャンパス（石川県野々市市）

2) その他行事

- ・平成 30 年度 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティックス研究会（MBE）（共催）

平成 30 年 5 月 19 日（土）富山大学

- ・平成 30 年度電気関係学会北陸支部連合大会（主催）

平成 30 年 9 月 8 日（土）～9 日（日）

北陸先端科学技術大学院大学

- ・第 1 回評議委員会

平成 30 年 12 月 1 日（土）金沢工業大学扇が丘キャンパス

- ・平成 30 年度電気関係学会北陸支部連合大会（主催）

平成 30 年 9 月 8 日（土）～9 日（日）

- ・平成 30 年度 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティックス研究会（MBE）（共催）

平成 30 年 9 月 8 日（土）～9 日（日）

北陸先端科学技術大学院大学

- ・特別講演（主催）

平成 30 年 12 月 1 日（土）金沢工業大学扇が丘キャンパス

講師：北陸大学

教授 嶋津 秀昭 先生

演題：「産学協同による医療機器開発の経験」

- ・支部大会（主催）

平成 30 年 12 月 1 日（土）金沢工業大学扇が丘キャンパス

一般演題：15 題

参加者：52 名

- ・支部大会研究奨励賞・敢闘賞 表彰式

平成 30 年 12 月 1 日（土）金沢工業大学扇が丘キャンパス

3) 総括、その他通信

- ・日本生体医工学会北陸支部大会表彰

支部大会において将来性が期待できる優秀な研究成果を発表した 39 歳以下の若手研究者に対して「研究奨励賞」及び「研究敢闘賞」を送る。厳正な審査の結果、14 名の対象者の中から以下の 3 名が表彰された。

【研究奨励賞】 1 名

- ・氏名 (所属)

山西 豊 (金沢大学)、共著者：内藤 尚, 田中志信

タイトル「義足ソケット―断端間の三次元有限要素解析に関する研究」

【研究敢闘賞】 2 名

- ・氏名 (所属)

奥村亮典 (富山大学)

共著者：但馬俊貴、向 拓也、山下大海、柿澤太一、金 主賢、中島一樹

タイトル「グレリンによる睡眠・覚醒への影響と活性化脳領域の検証」

- ・氏名 (所属)

武藤将平 (金沢大学)

共著者：陸 吟子、Aqilah Ardini binti Azmi、坂井紀子、野川雅道、内藤 尚、
根本鉄、戸川達男、田中志信

タイトル「熱流補償型ウェアラブル深部体温計の開発」

(7) 関西支部(支部長：大城 理 支部幹事：浦西 友樹、黒田 嘉宏、吉元 俊輔)

1) 支部総会開催日：2018 年 12 月 8 日 (土)

支部総会開催会場：大阪大学医学部 銀杏会館 3F 阪急電鉄・三和銀行ホール

2) その他の行事

1) 生体医工学シンポジウム 2018

日時：2018 年 9 月 14 日 (金), 15 日 (土)

場所：名古屋工業大学 NITech Hall (愛知県名古屋市)

2) 2018 年度日本生体医工学会関西支部 講演会

バイオメクフォーラム 21 研究会 第 91 回 研究会と共催

世話人：松村 泰志, 坂田 泰史 (大阪大学)

日時：2018 年 12 月 8 日 (土)

場所：大阪大学医学部 銀杏会館 3F 阪急電鉄・三和銀行ホール

3) バイオメクフォーラム 21 研究会 第 88 回 研究会

世話人：岡田 志麻 (立命館大学)

日時：2018 年 4 月 21 日 (土)

場所：大阪大学 基礎工学部 国際棟

4) バイオメクフォーラム 21 研究会 第 89 回 研究会

世話人：出口 真次 (大阪大学)

日時：2018 年 7 月 28 日 (土)

場所：大阪大学 基礎工学部 国際棟

5) バイオメクフォーラム 21 研究会 第 90 回 研究会

世話人：清野 健 (大阪大学)

日時：2018 年 10 月 20 日 (土)

場所：大阪大学 基礎工学部 国際棟

- 6) 2018 年度 計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会 若手研究発表会
主催：計測自動制御学会関西支部, システム制御情報学会
日時：2019 年 1 月 21 日 (月)
場所：大阪工業大学梅田キャンパス 2 階

3) 総括、その他通信

1) 生体医工学シンポジウム 2018

主催：公益社団法人 日本生体医工学会,
日本生体医工学会 北海道支部・東北支部・関東支部・甲信越支部・北陸支部・
東海支部・関西支部・中国四国支部・九州支部

組織委員長：本谷 秀堅 (名古屋工業大学)

副委員長：安井 武史 (徳島大学)

日時：2018 年 9 月 14 日 (金), 15 日 (土)

場所：名古屋工業大学

演題数：124 題

参加者：270 名 (各種委員会委員・一般 150 名, 学生 120 名)

シンポジウム論文

生体医工学 (申込み 28 件) > (実際の提出は 23 件)

採択 4 編、査読中 14 編、返却 4 編、取り下げ (未提出含) 1 編

Advanced Biomedical Engineering (ABE) (申込み 12 件) > (実際の提出は 11 件)

採択 3 編、査読中 6 編、返却 2 編、取り下げ (未提出含) 0 編

※ 2018 年 11 月 22 日 現在

ベストリサーチアワード

ベストリサーチアワード審査対象論文：20 編

投稿論文の中から、シンポジウム選奨委員会による審査に基づき以下の 2 件が選ばれた。

- ・柳沼ひかる、中野祐樹、鈴木孝司、千葉慎二、鷺尾利克、矢野智之、荒船龍彦
"三次元計測とプロジェクションマッピングを用いた乳房再建術中支援システム"
- ・谷田部純弥、山崎正俊、柴田仁太郎、富井直輝、佐久間一郎、本莊晴朗、本間章彦、
荒船龍彦
"仮想電極分極現象を用いた Spiral Reentry 旋回中心制御"

ベストレビューアワード

シンポジウム編集委員でない査読者の中から、シンポジウム選奨委員会による審査に基づき、以下の 6 名の査読者が選ばれた。

- ・小濱 剛 (近畿大学)
- ・坂上 友介 (東レエンジニアリング)
- ・関根 克尚 (金沢大学)
- ・日浦 幹夫 (青森大学)
- ・正本 和人 (電気通信大学)
- ・芦原 貴司 (滋賀医科大学)

ポスターアワード

それぞれの論文を2名の審査委員が審査し、上位の発表のなかで、ポスターアワードの選奨委員会による審査に基づき以下の11件が選ばれた。

- ・西沢 望 「円偏光散乱を用いた非染色・非侵襲ながん検出技術の開発」
- ・小寺 龍之介 「視覚探索を最適化する注視点時系列モデルの提案」
- ・和部 崇洋 「Basic study on blood coagulation measurement in extra - corporeal circuits by a photoacoustic imaging using LED」
- ・漆畑 智士 「超音波照射による振動を利用した磁性ナノ粒子イメージングの基礎検討」
- ・小林 俊輝 「Compressed Laminar Optical Tomography(CLOT)計測を可能とする光学計測システムの開発」
- ・中尾 恵 「動物生体肺を対象とした統計的脱気変形モデル構築の試み」
- ・Brice Venayre 「Finite element analysis of pelvis for treatment of sacroiliac joint dysfunction with joint fixations」
- ・橘 克典 「シート型電極マトリックスのインピーダンス変化を用いた排尿量推定システム」
- ・福田 有哉 「生体電気信号における周波数変動する交流雑音の適応フィルタリング」
- ・吉野 公三 「Analysis of the relation between the amplitude modulation of the low frequency heart rate variability and blood pressure variability」
- ・島崎 正太 「オートエンコーダから得られる脈波特徴の分析とカフレス血圧推定への応用」

2) 日本生体医工学会関西支部 講演会

主催：日本生体医工学会関西支部

共催：バイオメクフォーラム 21 研究会

世話人：松村 泰志，坂田 泰史（大阪大学）

日時：2018 年 12 月 8 日（土）13:50-17:20

場所：大阪大学医学部 銀杏会館 3F 阪急電鉄・三和銀行ホール

プログラム：

1. 「電子カルテビッグデータ活用の現状と活用拡大に向けた取り組み」
武田 理宏（大阪大学 大学院医学系研究科医学専攻医療情報学 准教授）
2. 「日本からめざす、医療機器開発」
岡山 慶太（大阪大学 大学院医学系研究科医学専攻循環器内科学・
（兼）国際医工情報センター 特任助教）
3. 「生体力学シミュレーションとデータ同化による個別化医療支援」
和田 成生（大阪大学 大学院基礎工学研究科機能創成専攻・
（兼）国際医工情報センター 教授）

(8) 中国・四国支部 (支部長：石原 謙)

1) 支部総会

開催日：平成 30 年 10 月 27 日 (土)

開催会場：松江医療センター

2) その他の行事 (行事名称・開催日・開催会場)

① 第 41 回支部大会

平成 30 年 10 月 27 日 (土)

松江医療センター大会議室

② 岡山県医用工学研究会・平成 30 年度第 1 回セミナー

平成 30 年 7 月 6 日 (金)

岡山大学鹿田キャンパス内 臨床講義棟 2 階第 2 講義室 (岡山市)

③ 岡山県医用工学研究会・平成 30 年度第 2 回セミナー

平成 30 年 10 月 26 日 (金)

岡山大学鹿田キャンパス内

地域医療人育成センターおかやま 3 階講義室 (岡山市)

④ 岡山県医用工学研究会 平成 30 年度第 4 回セミナー

平成 31 年 2 月 22 日 (金)

岡山大学鹿田キャンパス内 臨床講義棟 2 階第 2 講義室 (岡山市)

⑤ LED 総合フォーラム 2019 in 徳島

平成 31 年 2 月 23 日 (土)

徳島グランヴィリオホテル 1F グランヴィリオホール (徳島市)

3) 総括、その他通信

本年度は島根地区で支部大会を開催し、他に共催研究会を 4 回開催した。
いずれの会でも活発な討論と研究交流が行われた。

(9) 九州支部 (支部長：伊良皆 啓治 支部幹事：諸岡 健一)

1) 支部総会開催日・開催会場

平成 31 年 3 月 2 日 (土)

九州大学 馬出キャンパス 講義棟

2) その他の行事

①2018 年日本生体医工学会九州支部学術講演会

平成 31 年 3 月 2 日 (土)・九州大学 馬出キャンパス 講義棟

②生体医工学シンポジウム 2018

(関東、北海道、甲信越、関西、中国四国の各支部と共催)

平成 30 年 9 月 14 日 (金)、15 日 (土)・名古屋工業大学

3) 総括、その他通信

支部役員の高齢化が進んでおり、支部幹事、支部評議員に医学系・工学系の若手を追加した。
ME 技術実力検定試験の運営に関して、九州支部ではこれまで一部の支部役員に運営を任せきりで大きな負担を課していた。そのため、今後は、支部の一事業として支部評議委員会が中心となり運営していくこととなった。

10. 国際委員会

委員長：松田 哲也

副委員長：佐久間 一郎

委員：石原 謙、伊良皆 啓治、小笠原 康夫、木村 裕一、白石 泰之、神保 泰彦
南部 雅幸、中村 亮一、野川 雅道、松本 健郎、村山 嘉延、黒田 知宏、
梶田 晃司、山田 昭博

顧問：菊地 眞、砂川 賢二、田村 俊世、堀 正二

幹事：坪子 侑佑、梶谷 文彦

1) IFMBE Asia Pacific Research Networking Fellowship Program の実施

2018 年 6 月 3 日-8 日チェコ共和国プラハで開催された IUPESM (International Union for Physical and Engineering Sciences in Medicine) WC2018 に参加するとともに、IUPESM WC2018 直前にアジア数カ国の若手研究者とアジアの研究機関を訪問する IFMBE Asia Pacific Research Networking Fellowship Program の実施を支援した。

国内の若手研究者からの応募書類について国際委員会委員による厳正な審査により早稲田大学重点領域研究機構医療レギュラトリーサイエンス研究所研究助手 坪子侑佑氏を IFMBE Asia Pacific Research Networking Fellowship Program への参加者として選出し、同氏に加えて中国、香港、台湾からの参加者合計 4 名が IUPESM WC2018 の直前にあたる 2018 年 5 月 27 日-29 日早稲田大学、東京大学、東北大学の生体医工学研究室を訪問、見学した。

2) 第 57 回日本生体医工学大会の JSMBE & JSMP 交流セッションの企画および開催

第 57 回日本生体医工学大会に日本医学物理学会からの招待講演者を招き、本学会会員とともに第 57 回日本生体医工学大会 JSMBE & JSMP 交流セッション (2018 年 6 月 20 日 於 札幌コンベンションセンター)を開催した。また、第 115 回日本医学物理学会学術大会にて JSMP-JSMBE Joint Session (2018 年 4 月 15 日 於 横浜パシフィコ)を開催した。

3) IFMBE Asia Pacific Group 主催の Asia Pacific Conference on Medical and Biological Engineering 2020 を 2020 年 5 月 25 日-27 日、岡山にて開催される第 59 回日本生体医工学大会と併催するための準備を行った。

4) IUPESM WC2024 招致のための IUPESM WC2024 招致準備委員会活動

2024 年の日本開催に向けて、World Congress 2018 にて開催される IFMBE 総会にて情報を収集するとともに、日本物理学会と連携して準備を進めた。

11. 編集委員会

編集担当理事：横澤 宏一

生体医工学編集委員長：福岡 豊 (生体医工学担当)、王 鋼 (ABE 担当)、

横澤 宏一 (渉外担当)

副編集委員長 (両誌共通)：木村 裕一、大城 理、中尾 光之、松村 泰志、南部 雅幸

編集幹事：永岡 隆、川田 徹

2018 年度の活動内容

本年度は以下の活動を行った。

- 1) 生体医工学は、第 56 巻第 1 号から 6 号と、第 57 回日本生体医工学大会での発表を収載した電子版の別冊 1 つを出版した。
- 2) 生体医工学では、通常投稿として 24 編の投稿があり、うち 8 編が掲載され、収載率は 33%であった。また、生体医工学シンポジウム 2018 での論文として 23 編の投稿があり、16 編が収載され、収載率は 70%であった。双方を合わせると、47 編の投稿に対して 24 編が収載されており、収載率は 51%であった。
- 3) ABE は、第 7 巻を出版した。

- 4) ABE では、通常投稿として 21 編の投稿があり、うち 9 編が掲載され、収載率は 43%であった。また、生体医工学シンポジウム 2018 での論文として 11 編の投稿があり、9 編が収載され、収載率は 82%であった。双方を合わせると、32 編の投稿に対して 18 編が収載されており、収載率は 56%であった。
- 5) インパクトファクター (IF) を認定する Clarivate 社と面談し (9 月 13 日)、IF 取得に向けた課題を明確化した。
- 6) 以下のデータベースには引き続き ABE が掲載されている。
Emerging Sources Citation Index (ESCI) : Clarivate 社がインパクトファクター取得の直前の段階にある雑誌を主として収載している論文誌データベース (IF の審査対象)
Web of Science (WoS) : が運営する学術雑誌のデータベース
Scopus : Elsevier 社が運営する学術雑誌のデータベース
EBSCO : 米 EBSCO 社が運営する学術情報のデータベース
- 7) 論文投稿の勧奨、英語論文執筆の勧奨、生命倫理や出版倫理の普及を目的とした教育講演を、第 57 回日本生体医工学会大会及び生体医工学シンポジウム 2018 で実施した。
- 8) 臨床工学会との連携強化を目的としたシンポジウムを第 57 回日本生体医工学会大会で実施した。
- 9) 編集委員会を第 57 回日本生体医工学会大会にて開催した。また、随時メールを用いた審議を行っている。
- 10) 費用削減のため、生体医工学第 57 巻は合併号を年 2 回刊行することにより、刊行回数を年 4 回に減らすことにした。

1 2. 教育委員会

委員長：野村 泰伸

副委員長：黒田 知宏

委員：坂田 泰史、佐久間 一郎、佐藤 嘉伸、中尾 光之、中島 一樹、平田 雅之、堀 潤一、山本 義春、和田 成生

幹事：前田 義信、鈴木 康之

- 1) 2018 年生体医工学サマースクール (第 16 回) を開校した。

主催：日本生体医工学会

協賛：電気学会 電子・情報・システム部門・医用生体工学技術委員会、

日本機械学会 バイオエンジニアリング部門、

計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門、

電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会、IEEE EMBS Japan Chapter

企画・運営：荒船龍彦 (委員長、東京電機大学)、黒田嘉宏 (大阪大学)、

永岡 隆 (近畿大学)、西川拓也 (国立循環器病センター)、

前田祐佳 (筑波大学)、桑名健太 (東京電機大学)

期間：2018 年 8 月 7 日～8 日

場所：マホロバマインズ三浦

内容：今年度で 3 回目を迎えたハッカソン形式の生体医工学サマースクール 2018 では『生体医工学でアンチエイジング』と題して、下北沢ルミアージュクリニック院長脇村祐輝先生、日本ロレアル株式会社板谷綾子様のお二方を講師としてお招きし、テーマ提供講演をご講演いただいた。そのテーマ内容を元に参加者全員で今回のテーマに基づいた課題抽出とその課題解決を行うサービスを考案するショートプレゼンを行った。その内容を元に参加者全員で各課題解決サービスの考案とプロトタイピングを行った。

- 2) 第三回 日本生体医工学会 若手研究者活動ワーキンググループ主催 講演会

講師：中江裕樹様 (特定非営利活動法人バイオ計測技術コンソーシアム事務局長)

日時：2019 年 3 月 11 日 (月) 18 時 30 分から、会場：フクラシア八重洲 (東京)

3) 生体医工学辞典（ウェブ版）発行準備

「生体医工学辞典（ウェブ版）」を電子出版する方針を決め、編集委員会（ワーキンググループ）の組織構成を実施し、現在、掲載用語 100 ワードの選定作業を実施中である。

1 3. ME技術教育委員会

委員長：守本 祐司

副委員長：嶋津 秀昭

委員：石山 陽事、上松 弘明、大内 克洋、大塚 勝哉、大庭 和夫、小野 哲章、
加納 隆、小久保 謙一、小山 裕徳、酒井 順哉、白井 康之、高倉 照彦、
高橋 誠、竹沢 真吾、立花 博之、津坂 昌利、戸畑 裕志、内貴 猛、
長倉 俊明、南部 恭二郎、平井 紀光、廣瀬 稔、福長 一義、星野 洋、
堀内 邦雄、水島 岩徳、水谷 好成、峰島 三千男、渡邊 晃広

幹事：中島 章夫、堀 純也

1) 第24回第1種ME技術実力検定試験

A) 受験希望者用講習会

①東京会場（帝京平成大学）

2018年4月 8日（日） 受講者101名

②大阪会場（新梅田研修センター）

2018年4月 8日（日） 受講者 56名

③札幌会場（札幌医学技術福祉歯科専門学校）

2018年4月15日（日） 受講者 15名

④名古屋会場（名城大学ナゴヤドーム前キャンパス

2018年4月15日（日） 受講者 12名

③福岡会場（福岡県中小企業振興センター）

2018年4月23日（日） 受講者 37名

B) 第1種試験

①実施日 2018年6月17日（日）

②実施会場 札 幌：札幌医学技術福祉歯科専門学校

東 京：帝京平成大学

名古屋：名城大学

大 阪：新梅田研修センター

福 岡：福岡工業大学

③受験者（かつこ内は応募者数） *科目受験者数含む総数

札 幌： 30名（ 32名）

東 京：185名（197名）

名古屋： 35名（ 39名）

大 阪：135名（147名）

福 岡： 52名（ 54名）

合 計：466名（437名）

④合格者数（かつこ内は合格率）

※第8回より「科目合格制」を導入

・総合合格者

121名（27.7%）

・「ME基礎論」合格者

19名（ 4.5%）

・「ME機器論」合格者

49名（11.6%）

2) 第40回第2種ME技術実力検定試験

①実施日 2018年9月9日(日)

②実施会場、受験者(カッコ内は応募者数)

札幌：札幌医学技術福祉歯科専門学校	310名 (336名)
仙台：東北工業大学	254名 (262名)
東京：東京電機大学	2,393名 (2,522名)
名古屋：名城大学	530名 (555名)
大阪：コングレコンベンションセンター	1,061名 (1,141名)
岡山：川崎医療福祉大学	733名 (771名)
福岡：九州産業大学	907名 (945名)
合計：	6,188名 (6,532名)

③合格者数(カッコ内は合格率)

全国：1,935名(31.3%)

3) 第40回ME技術講習会(財団法人医療機器センターと共催)

A) テーマー医療機器安全基礎講習会ー

B) 実施会場、実施日および受講者数

①大阪会場(大阪国際会議場)

2018年7月 8日(日) 309名

②広島会場(TKP ガーデンシティ広島)

2018年7月10日(土) 109名

③福岡会場(FFB ホール)

2018年7月16日(月祝) 271名

④仙台会場(仙台国際センター)

2018年7月21日(土) 160名

⑤札幌会場(北海道経済センター)

2018年7月29日(日) 107名

⑥東京会場(ベルサール新宿)

2018年8月11日(土) 430名

⑦金沢会場(石川県地場産業振興センター)

2018年9月 2日(日) 63名

⑧名古屋会場(ウィングあいち)

2018年9月15日(土) 135名

4) ME塾

開催日：5/26(土)、6/30(土)、7/21(土)、8/18(土)、9/29(土)、

10/20(土)、11/10(土)、12/15(土)

計8回、各2講義 計16講義開催

参加者数：延べ55名

14. クリニカルエンジニアリング委員会

委員長：守本 祐司

副委員長：加納 隆

委員：篠原 一彦、堀川 宗之、峰島 三千男、石山 陽事

幹事：小野 哲章、中島 章夫

1) 臨床ME専門認定士合同認定委員会（日本医療機器学会と合同）

- ・第20回認定者 58名（総合計： 1169名）

- ・第13回認定更新者 130名

- ・更新講習会を開催

①平成30年度更新講習会

2018年 7月28日（土）東京 東京大学医学部棟 受講者数 105名

10月13日（土）大阪 大阪ハイテクノロジー専門学校 受講者数 91名

2) ME技術教育委員会の活動支援

- ・第1種・第2種ME技術検定試験

15. 広報委員会

委員長：井村 誠孝

副委員長：平田 雅之

委員：岡本 英治、杉田 典大、大越 康晴、岩城 護、目加田 慶人、服部 託夢、
吉元 俊輔、木村 映善、諸岡 健一

幹事：黒田 嘉宏、坂田 泰史

本委員会の主要な役割が学会と支部のホームページの運営管理であることを鑑み、各支部のホームページ担当者で委員会を構成した。委員会内の議論はメール稟議にて実施した。

学会、及び、各支部のホームページの継続的なアップデートを行った。

過去の大会・シンポジウムについて、開催の記録およびウェブサイトのアーカイブを学会ウェブサイトを利用して行うものとし、ウェブサイトのデータの収集を進めた。

将来的に、各種の学会活動を円滑に進めることを目的とし、Googleが提供しているビジネスツールであるG Suiteを導入するための準備として、テックスーパージャパンおよびGoogle for Nonprofitsへの本学会の登録を行った。

16. ME研究推進委員会

委員長：生田 幸士

副委員長：石原 謙、橋爪 誠、長倉 俊明、佐久間 一郎、小山 博史

委員：山田 憲嗣、野村 泰伸、花房 昭彦、砂川 賢二、上野 照剛、梶谷 文彦、
高橋 隆、村垣 善浩、篠原 一彦、梅津 光生、土肥 健純、磯山 隆、
林 紘三郎、大野 ゆう子、加藤 大香士

幹事：苗村 潔

大会（札幌）内で、生体医工学科の新設、増設に関するシンポジウムを開催し、来年度の大会に向けた具体的活動案を検討した。

行政、立法への学会としての働きかけ方を検討し、先進的な生体医工学科のカリキュラム案まで踏み込んだ資料を作成することになった。

17. ME教育WG

委員長：平田 雅之

副委員長：橋爪 誠

委員：家入 里志、江藤 正俊、大城 理、大須賀 美恵子、坂田 泰史、野村 泰伸、
不二門 尚、村田 正治、山家 智之、和田 成生、篠原 一彦、長倉 俊明

医学部学生用のテキストの発刊に向けて、テキストの内容・執筆分担について、WGでの検討を進めた。出版をコロナ社に依頼し、検討段階から協力を得た。その結果、医学生にアピールする医学的応用面に重点をおく内容とするものの、WEB版生体医工学用語集との連携により、工学的基礎面の理解が深められるものとした。執筆分担を決定し、2019年6月末締切にて執筆依頼を完了した。2019年度中の発刊を目指す。

18. 生体医工学科活性化委員会

委員長：石原 謙

副委員長：生田 幸士

委員：赤松 映明、井街 宏、植野 彰規、岡山 慶太、木村 映善、砂川 賢二、
塚本 壮輔、内貴 猛、苗村 潔、長倉 俊明、橋本 成広、森 晃、山内 康司、
山崎 清之、山田 憲嗣、山本 衛、山家 智之

幹事：守本 祐司、花房 昭彦

1) 目的

既存生体医工学関連学科が連携して、社会一般の市民、国会議員、マスコミ、高校生などの青少年に対して、全国的規模で生体医工学の分野を紹介し、世界での隆盛の実情の啓発をはかり、新たな生体医工学科や学部を設置まで視野に入れる。そのため現状を分析し、活性化の方策を企画して実施するために、本学会内の生体医工学の発展に関係する各委員会や諸先達からのご協力も得て、問題点の整理と対応策の優先順序を決定し、新たな対策も加えてこれらを推進する。

2) 委員会

委員会を(6/20)に開催した。

3) 事業

i) 進学相談会、模擬授業参加

株式会社さんぼう開催の以下の進学相談会に委員を派遣し、模擬授業を通して、高校生等を対象として生体医工学分野と学科に関する広報活動(分野と学科の紹介)を実施した。また、これらの相談会で配布された同社の刊行物「新しい学びのすすめ(理学・工学・生命科学系)」に、分野紹介の記事を掲載した。

- ・2018年7月17日 霞ヶ浦高等学校で2回の模擬授業を行った。来場者合計で40名程度
株式会社フロムページ社による以下の進学相談会(夢ナビライブ)に委員を派遣し、まなびステーションでブースを設けて生体医工学分野の紹介を行った。
- ・2018年6月16日 インテックス大阪 来場者約70名 4名の委員で対応
- ・2018年7月14日 東京国際展示場 来場者約100名 5名の委員で対応

来場した高校生には積極的に話を聞いてもらえた。またアンケートの結果も肯定的なものが多数を占めた。

ii) 就職先拡充のための活動

医療機器関連業界研究セミナーを、アール・コンサルティング株式会社の協力を得て、12月17日に芝浦工業大学大宮キャンパス(4大学から学生35名参加)にて開催した。アンケート調査によると非常に好評であったことから、このようなセミナーを継続的に開催することとした。

iii) 生体医工学科や学部を設置まで視野に入れた活動

生体医工学科・学部の世界での隆盛の実情に遅れた我が国を啓発するために、まずは国会議員、マスコミ、高校生などの青少年に対して、全国的規模で生体医工学の分野を紹介し、海外諸大学での隆盛の実情に迫りつづため、新たな生体医工学科や学部を設置まで視野に入れる活動を行った。

その一環として、ME研究推進委員会の委員長として、ならびに沖縄大会大会長としての生田幸士東大教授のご協力を仰ぎ、我が国のME研究者の活動の場を拡大するための実情調査と、研究活動支援の対策を講じた。この活動は頻回かつ多岐に渡っており、次年度以降にも継続するが、これまでは会議費・交通費などは各関係者の篤志とメール等のITCの最大活用で行ってきた。

19. 選奨委員会

P.42のように各賞選定委員会を組織し、平成30年度選奨各賞受賞候補者の選定を行った。

論文賞・阪本賞として1編の論文を、研究奨励賞・阿部賞として4名の研究者を、臨床応用研究賞・荻野賞として1つの研究を選定した。新技術開発賞については該当者なしだった。

20. 選挙管理委員会

委員長：川田 徹

副委員長：横澤 宏一

委員：福岡 豊、宮本 忠吉、上村 和紀、清水 秀二、西川 拓也

平成31（令和元）・令和2年度日本生体医工学会代議員の選挙について、平成30年12月15日に開票・集計を行った。253通の投票を開票し、165名（次点12名）が選出され、1月18日開催の平成30年度第4回理事会に報告し、本人承諾を行った。その結果、辞退が1名あり、次点より1名繰り上げて本人承諾を行った。

平成31（令和元）・令和2年度理事・監事の選挙について、平成31年3月4日に開票・集計を行った。78通の投票を開票し、理事9名（次点2名）、監事2名（次点2名）が選出され、3月13日開催の平成30年度第5回理事会で審議の上、本人承諾の段階に移行している。

21. 利益相反委員会

委員長：佐藤 嘉伸

副委員長：石原 謙

委員：生田 幸士、木村 裕一、斎藤 逸郎、佐久間 一郎、椎名 毅、清水 孝一、杉町 勝、長倉 俊明、成瀬 恵治、野村 泰伸、橋爪 誠、馬場 一憲、三浦 裕正、守本 祐司、山家 智之、山森 伸二、四ノ宮 昇、浅野 薫、緒方 邦臣、深澤 太郎

幹事：中村 真人、篠原 一彦

2018年度の活動内容

- 2017年度に石原副委員長（前々副委員長）が本委員会において紹介した、日本の医学界における利益相反の問題点を紹介したスライド資料を、中村前委員長（現幹事）から、2018年度委員会として引き継いだ。石原副委員長の指摘する問題点の要点は、“リスクに見合わない過剰なCOI管理コスト”、および、“内容を吟味することなく盲目的にガイドラインに従うことの危険性”であった。
- 他学会の利益相反（COI）に関する指針、および、指針の細則の具体的事例を、10以上の学会から収集し、それらの内容を検討した。

3. 「日本医学会 COI 管理ガイドライン」に基づきながら、他学会の例を参考にし、さらに、石原副委員長が指摘する問題点を考慮した上で、「生体医工学会における事業活動の利益相反 (COI) に関する指針」の第 1 バージョンを作成した。第 1 バージョンに対して、まず、幹部（委員長、副委員長、幹事 2 名）および、理事長でもある木村委員の間で、メールベースでの意見交換を行った。その中で、「日本医学会のガイドラインに基づくのではなく、日本生体医工学会として独自の規定を考えるべき」との意見があった。一方で、日本医学会のガイドラインに基づかないことで起こりうる問題も懸念された。
4. 今後、得られた意見に基づいて COI 指針第 1 バージョンの修正版を作成し、さらに、指針細則の第 1 バージョンを作成する。

2 2. 若手研究者活動 WG

委員長：荒船 龍彦

副委員長：朔 啓太

委員：荒船 龍彦、朔 啓太、永岡 隆、福満 雅史、塩澤 成弘、黒田 嘉宏、
前田 祐佳、西川 拓也、鷺尾 利克、木村 雄亮、桑名 健太

1) 講演会事業

2018 年度は 1 回の講演会を実施した。第 3 回目は 2019 年 3 月 11 日、フクラシア八重洲にて中江祐樹氏 (JMAC: 特定非営利活動法人バイオ計測技術コンソーシアム) より『攻める国際標準化戦略』という題目でご講演いただき、13 名の参加者を得た。

2) YIA

第 57 回日本生体医工学会大会にて第 1 回 YIA を実施し、医学系 3 名、工学系 3 名の受賞者を決定した。

第 58 回日本生体医工学会大会実行委員会の協力を得て、演題登録サイトに YIA 申請の項目を追加し、演題募集と同時に YIA 募集を開始した。選奨委員長を朔啓太とし、演題募集後に大会と連携して選奨を行うことを確認した。

3) サマースクール

教育委員会と共同で、2018 年 8 月 7 日から 8 日にかけて三浦海岸のマホロバマインズ三浦を会場に、2018 年度の生体医工学サマースクールを実施し 31 名の参加者を得た。

2 3. 生体医工学シンポジウム WG

2018 年 9 月 14 日 (金)、15 日 (土) に名古屋工業大学において生体医工学シンポジウム 2018 の円滑な運営を行った。

また、生体医工学シンポジウム 2019 の開催地、組織委員長を選定し、2020 年度以降のシンポジウム開催地等の選考を始めた。

さらに、WG 構成員の若年化を進めた。

2 4. 臨床研究法WG

WG 長：黒田 知宏

副WG長：杉町 勝

委員：木村 裕一、大城 理、黒田 佑輝、佐久間 一郎、
佐藤 嘉伸、清水 公治、鈴木 考司、鎮西 清行、増田 茂樹、

幹事：岩崎 清隆、櫻井 理沙、中村 英夫、加藤 雄喜

1) 臨床研究法についての会員の理解を促進するため、第 57 回生体医工学会大会

(6 月 20 日 札幌) にて教育講演を行うとともに、会員からの質問を ML で受け付けた。

- 2) 臨床研究法に関する各種講演会等に参加し、情報収集を行った。
- 3) 会員が自らの研究の臨床研究法への該当性を判断するためのガイドライン、及び、臨床研究に適用する試作医療機器の品質管理に関するガイドラインの草案策定を行った。次年度は、前者のガイドラインについて、パブリックコメントを経て制定・発出することを予定している。
- 4) 臨床研究学会 医療機器・再生医療委員会と協力について協議を行い、次年度より事例収集事業を協調して行うことで合意した。

2 5. 臨床工学技士会連携 WG

第 57 回大会の企画（生体医工学と臨床工学―過去・現在・未来―）の開催を契機にして、この WG を発足させた。日本臨床工学技士会との間で、連携不足である現状とその改善が必要であることを両学会の共通の認識として確認した。学会の性格・構成や具体的にどのような連携を希望するのが双方で一致しているわけではないので、慎重に対話を重ねることとした。

2 6. 他団体との共催・後援・協賛状況

(1) 後援

1. 日本医療機器学会「第 11 回 MDIC 認定セミナー」
2. 産業技術総合研究所「医療機器等ガイドライン活用 セミナー」
3. 日本分子イメージング学会「第 14 回日本分子イメージング学会学術集会」
4. 日本臨床工学技士会「第 29 回日本臨床工学会」
5. YRP 研究開発推進協会「ワイヤレス・テクノロジー・パーク 2019」
6. 日本臨床工学技士会「e ラーニング呼吸治療関連指定講習会」
7. 日本作業療法士協会「第 53 回日本作業療法学会」
8. 日本医療機器学会「日本医療機器学会大会」
9. 日本コンピュータ外科学会「第 28 回日本コンピュータ外科学会大会」
10. 日本医療福祉設備学会「第 48 回日本医療福祉設備学会」

(2) 協賛

1. 日本コンピュータ外科学会「第 27 回日本コンピュータ外科学会大会」
2. 日本材料学会「JCOM 若手シンポジウム」
3. 東京電機大学「第 42 回(平成 30 年度) ME 講座」
4. 日本機械学会「第 31 回バイオエンジニアリング講演会」
5. 日本機械学会「講習会「筋骨格モデルによるバイオメカニクス解析入門」」
6. 電気学会「第 28 回インテリジェント・システム・シンポジウム(FAN2018)」
7. 次世代センサ協議会「2018 次世代センサ総合シンポジウム」
8. 未踏科学技術協会「未踏科学技術協会特別講演会」
9. IEEE Life Sciences Technical Community「IEEE LifeTech 2019」
10. 日本医療福祉設備学会「HOSPEX2018」
11. 医用分光学研究会「第 16 回 医用分光学研究会」
12. ヘルスケア・医療情報通信技術研究専門委員会「MICT 研シンポジウム」
13. 日本バーチャルリアリティ学会, IEEE Computer Society「国際会議 IEEE VR 2019」
14. レーザー学会「レーザー学会学術講演会 第 39 回年次大会」

15. 全国公私病院連盟「第 30 回国民の健康会議」
16. CMBE2019
17. 計測自動制御学会「第 31 回自律分散システムシンポジウム」
18. 日本機械学会「第 31 回計算力学講演会（CMD2018）」
19. 日本複合材料学会「第 10 回日本複合材料会議（JCCM-10）」
20. 日本機械学会「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2019」
21. 日本機械学会「有限要素法による骨のバイオメカニクス解析入門～理論から応用まで～」
22. JSCES・JACM「COMPSAFE2020」
23. 日本非破壊検査協会「QIRT-Asia2019」
24. 日本音響学会「日本音響学会第 164 回技術講習会」
25. 日本衝撃波研究会「平成 30 年度衝撃波シンポジウム」
26. バイオメカニズム学会「第 26 回バイオメカニズム・シンポジウム」
27. バイオメカニズム学会「第 40 回バイオメカニズム学術講演会」
28. 物質・材料研究機構「第 17 回ナノテクノロジー総合シンポジウム」
29. 画像センシング技術研究会「SSII2019」
30. 日本機械学会「電子・情報・システム部門大会」
31. 日本知能情報ファジィ学会「FAN2019」
32. 日本機械学会「第 30 回バイオフィロンティア講演会」
33. 日本医用画像工学会「第 38 回日本医用画像工学会大会」
34. 日本機械学会「LIFE2019」
35. センシング技術応用研究会「センシング技術応用セミナー」
36. 「3 次元画像コンファレンス 2019」
37. 日本表面真空学会「第 55 回真空技術基礎講習会」
38. 日本工学教育協会「2019 年度工学教育研究講演会」
39. 日本実験力学会「14th ISEM」
40. 東京電機大学「医療機器国際展開技術者育成講座」
41. 日本能率協会「HOSPEX Japan2019」
42. ヒューマンインタフェース学会「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2019」
43. 日本知能情報ファジィ学会「FSS2018」
44. 名古屋大学「MHS2019」
45. 日本感性工学会「第 21 回日本感性工学会大会」
46. 東北大学「ICFD2019」
47. ICBME 2019
48. 超音波エレクトロニクス協会「USE2019」
49. 日本人間工学会「日本人間工学会 60 回大会」
50. 計測自動制御学会「第 36 回センシングフォーラム 計測部門大会」
51. 日本材料学会「JCOM 若手シンポジウム」

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。